



志行力

平成30年1月15日(火)



毎日続けることは大変ですが、習慣になると本当に大きな力になります。この通心を書いていると本当に実感します。久々に書くと、文字を打つ手が止まるんです。この47号もすでに二度目のチャレンジです。ちょっと気を抜いて辞めてしまうと、あっという間に習慣を失ってしまいます。怖いですね。

さて、今日は、45号でも紹介した我武者羅トレーニングカレッジでの学びです。講演された方の高校の野球部では、0時間目授業があるそうです。野球部員は朝7時から、この0時間目授業を受けるそうです。内容は、「人間力を高める授業」なのだそうです。受けたい！！

身体能力は年を重ねると必ず落ちる。今どんなに優れた野球の技術や身体能力があっても、将来は役に立たない。でも「姿勢」は違う。年を重ねても、伸ばせる。積み重なった分だけ、成長できる。だから、プロ野球選手になったとしても、その後の人生を考えておく必要がある。

こんな内容から始まりました。そして、最初に学ぶのが、「原理・原則を知る」ということだと言われました。因果応報という言葉があるように、物事には必ず原因がある、ということです。だから、「運が良かった、悪かった」はありません。でも「因が良かった、悪かった」はあるということです。自分を変える(成長させる)ためには、「因」を変える必要があるのです。具体的に言われたことを紹介します。私のノートのメモです。

- ① 考え方を変える。(積極的思考)
- ② とらえ方を変える。…刺激に対してどう反応するか?
- ③ 付き合う人を変える。…高い人間の側にいる。
- ④ 時間とお金の使い方を変える。…投資と消費のちがいは?
- ⑤ 言葉を変える。
- ⑥ 外を変える。…額縁を変える。マナーとは?
- ⑦ 自責にする。

つがよ
くよい
るんせ
も勢

中でも興味深かったのは、「⑥外を変える」です。例えば、2枚の絵があるとします。1枚は有名な画家が描いた絵。もう1枚は素人の自分が描いた絵です。自分が描いた絵だけを、とても高価な額縁に入れて、2枚を飾っておくと、見る人はどう感じるのでしょうか。「この額縁の絵は、誰の絵だ?」「すばらしい芸術センスだ」と感じることでしょう。上手い下手よりも、額縁に価値を見出す傾向にあるそうです。いったい、どういうことか。そうです。この額縁とは「身だしなみ」のことです。どんなに素晴らしい人間であっても、身だしなみがよくない(その時点ですばらしいとは言えないかもしれませんが…)と、よい印象は与えられないということです。例えば、プロ野球選手のとくに(もちろん、引退後もですが…)髪を染めていたとしたら、スカウトや公共放送の解説者の仕事は、誘いがかからないそうです(マナー面で失格だそうです)。では、「マナー」とは? マナーとは、「相手が不快な思いをしない」ことです。「自分が」ではないのです。「自分は別になんとも思わない」と思うのは自由です。でもそれはあくまで「自分」の感じ方です。感じ方は、人それぞれです。時間も同じですね。昨日話をしましたが、8:14に教室に入ったら遅刻ではないかもしれませんが、でも、相手、つまり周囲にとっては、どうでしょうか。決して、良い気分はしませんね。時間は、私自身も課題ですが…。素敵な額縁に自分を入れてみませんか?